みんなでつくる平和

掛川市立倉真小学校六年
橋本晴

ぼくは、戦争がないことが平和だと思いました。だけど、なぜ戦争がなくなることが平和なのか深く考えたことがありませんでした。

ある日、インターネットで戦争のことを調べていました。すると、現在も世界各地で戦争が起こっていることが分かりました。テレビのニュースでも、世界各地で戦争が起きていることが伝えられています。過去にも、戦争をして食料や生活に必要なものが手に入らないことがあると知って、本当に大変な時代があったのだとびっくりしました。たくさんの子供たちが、食料も家もなくてとてもこわい思いをしているそうです。ぼくと同じ年らいの子どもや、もっと小さな子どもが、安心して過ごせないと思うと、すごく悲しいことだと思いました。

「平和である」ということ

とが当たり前ではないことなのだと思いました。

現在、日本は戦争をしていません。それでも、戦争の他に様々な問題があることが分かりました。例えば、子どもだけでなく大人も含め、人間関係の悪化、孤立・孤独感の増加。また、家族関係がうすれてしまうといった問題です。日本には、このような問題があると知り、ぼくは、戦争がないことだけでなく、身近なところから思いやりと感謝の気持ちを持つことも平和に繋がるのではないか」と考えるようになりました。

六月二十日に、「金次郎タイム」という学習で、清掃活動をしました。自分たちが使う地区ごとの公民館や、学習センターを綺麗に清掃しました。そのとき、ぼくは「地域の人と一緒にやっているって安心するな」と思いました。もしも、困ったり悩んだりしたとき、助けてくれる人がいるということは、とても心強いことです。

　ぼくが調べていた戦争のことを、ぼくたちは知らないまま生きていました。でも、このままではいけない歴史を引き継がず、忘れてしまってはいけないと思いました。ぼくが戦争について調べた写真の中で、被害にあった子どもや大人たちの写真には、本当にショックを受けました。本当につらい思いをした人たちがいて、今の平和な暮らしがあります。ぼくたちは、その つらい思いをした人たちの気持ちを引き継いで、未来に伝えることが大事だと思います。

　そのために、ぼくたちにできることは何だろうと考えました。一つめは、戦争について学ぶことです。二つめは、相手の立場に立って考えること、相互理解を深めること、友達を大切にすること、地域の人を大切にすることです。どれも小さなことだけど、相手のことを考えたり、相手を大切にする小さな積み重ねが、きっと「平和」に繋がると信じています。

　戦争は、子どもには止められません。しか

し、相手を大切にすることは、だれにでもできます。ぼくはこれからも、友達や地域の人たちと仲良くして、小さな平和を毎日つくっていきたいです。そして、大人になったとき、今に今の友達や地域の人たちを大切にして、今の平和を守っていける人になりたいです。